

マーケットの動き (2021年11月8日～11月12日)

先週の外国株式市場は、前週末比で下落しました。

市場予想を上回る10月の米国CPI(消費者物価指数)上昇を受けてインフレ懸念が高まりましたが、11～12月は季節的に上昇しやすいとの観測に支えられ、小幅な下落に留まりました。

欧州市場は米国CPIの結果を受け、ユーロ安傾向となったことが好感され上昇しました。

投資環境見通し (2021年11月)

外国株式相場は、企業業績の拡大に沿って緩やかに上昇

米国：米国では、スタグフレーション（経済活動の停滞と物価の持続的な上昇が併存する状態）に対する懸念、連邦債務上限問題、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が再び高まる可能性があります。しかし、企業業績は、今後の経済活動の正常化の進展、エネルギー価格の上昇一巡とともに、部材供給制約の緩和が確認されることで、上方修正余地が広がるとみています。株式相場は企業業績の拡大に沿って緩やかに上昇すると予想しています。

欧州：中国景気見通しやエネルギー価格の動向などにより変動率が高まる局面が続く可能性があります。好調な欧米景気を背景に堅調な企業業績が見込まれることから、緩やかな上昇を予想しています。

	11月12日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,682.85	▲0.31%	7.64%	15.25%	32.40%
NYダウ	36,100.31	▲0.63%	5.01%	7.48%	24.14%

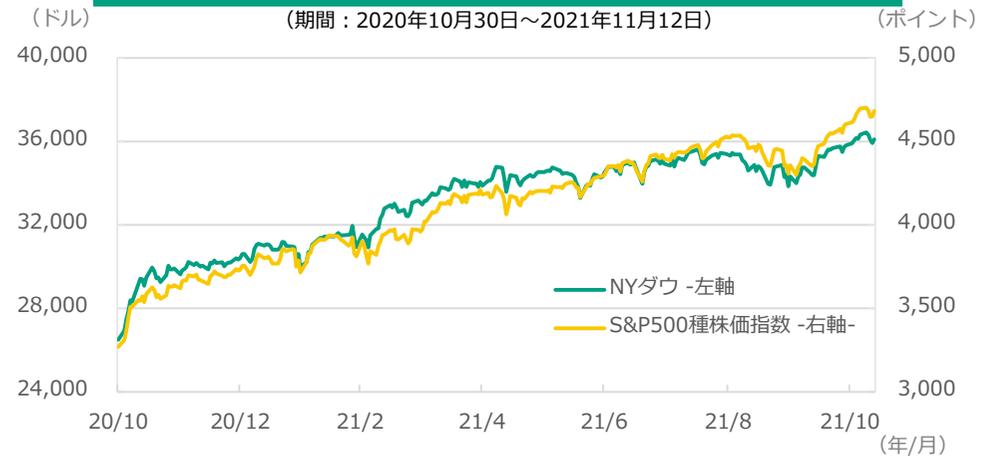
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202111_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年10月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成